

特定保健指導完了率の向上に向けた中断要因分析と対策

管理栄養士 真殿亜季^{1,2}

吉本由美¹ 藤谷保仁¹ 由田克士²

¹協会けんぽ大阪支部 保健グループ

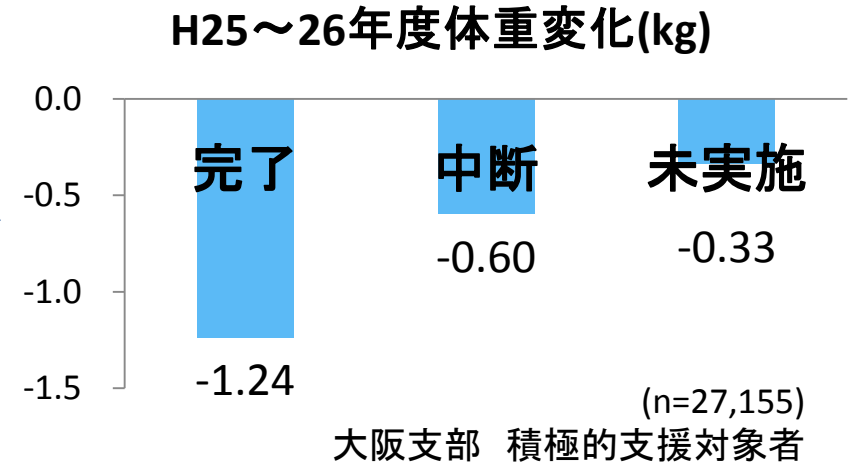
²大阪府立大学大学院 生活科学研究科



全国健康保険協会 大阪支部
協会けんぽ

背景・目的

- * 大阪支部が取り組む保健事業のうち、特定保健指導では、その対象者の翌年度特定健診結果が、指導未実施者、実施後の支援中断者、完了者の順に良好に改善する傾向が確認されている。

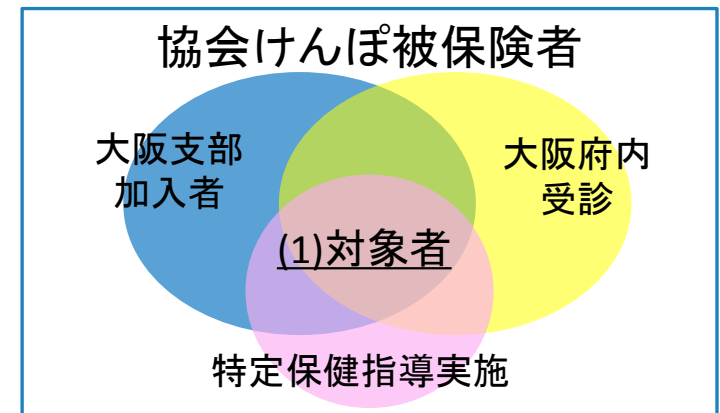


- * 大阪支部では、特定保健指導実施件数の増加と逆行し、中断率が上昇傾向にあった。
- * 実施率・完了率を向上させることが喫緊の課題である。
- * 今回は完了率向上を目的として、保健指導中断の要因を分析した。

方法

(1) 中断率と対象者の特性、支援内容との関連の確認

- * 平成25年・26年度の特定健診結果・平成25年度特定保健指導状況と面談時アンケート結果・事業所情報をそれぞれ匿名化した後に突合し使用した。
- * 対象者:3,933名
- * SPSS Statistics22使用 有意水準: $p < 0.05$
- * χ^2 乗検定 残差分析
- * 欠損データは除外



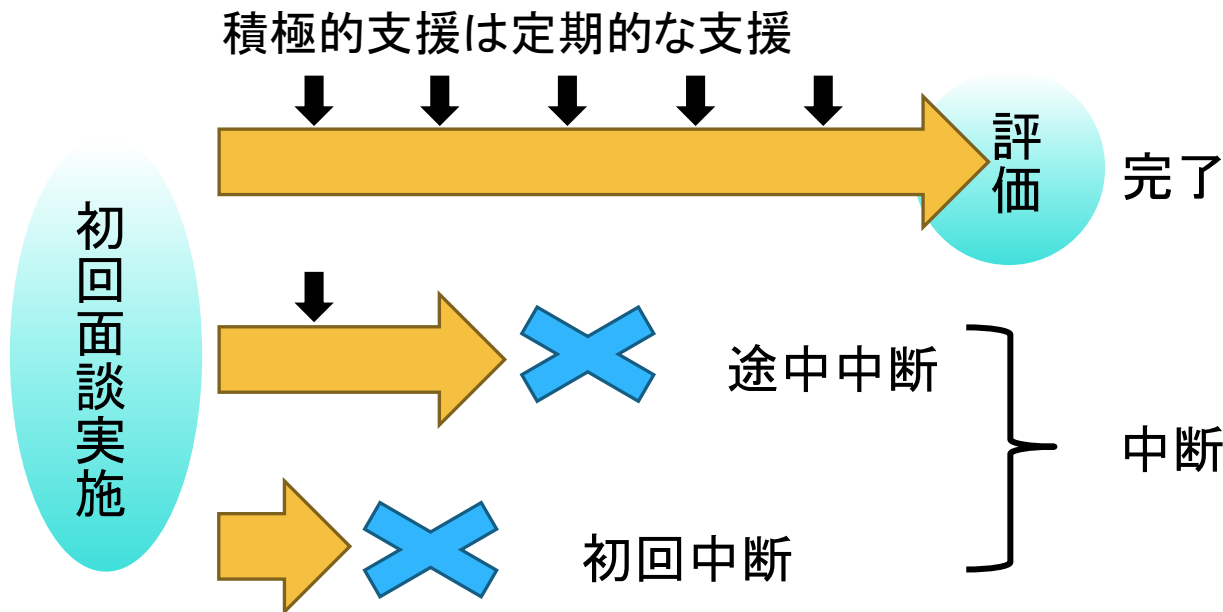
(2) 初回中断理由の調査

- * 指導者(保健師・管理栄養士 計20名)に向けて、初回面談時での中断に至った理由をアンケート調査した。
- * アンケート: 選択式とし、担当者によりカテゴリ化し集計した。
- * 対象中断件数: 427件
- * 期間: 平成28年11月より4か月間

(1) 中断要因 結果

対象者の内訳

	総数 (人)	完了率	中断率	内訳	
				初回 中断率	途中 中断率
積極的支援 対象者	2,382	61.3%	38.7%	12.9%	25.8%
動機づけ支援対象者	1,551	86.8%	13.2%	3.0%	10.2%

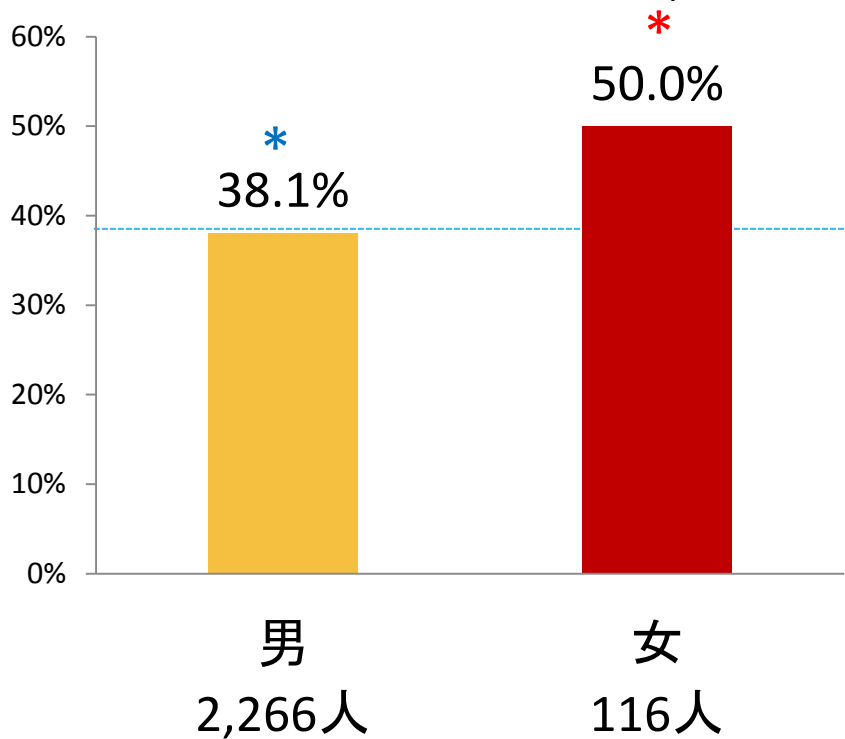


■ 動機づけ支援では
有意差のある要因は
なかった
↓
積極的支援の結果を示す

- 積極的支援
- 本人情報より

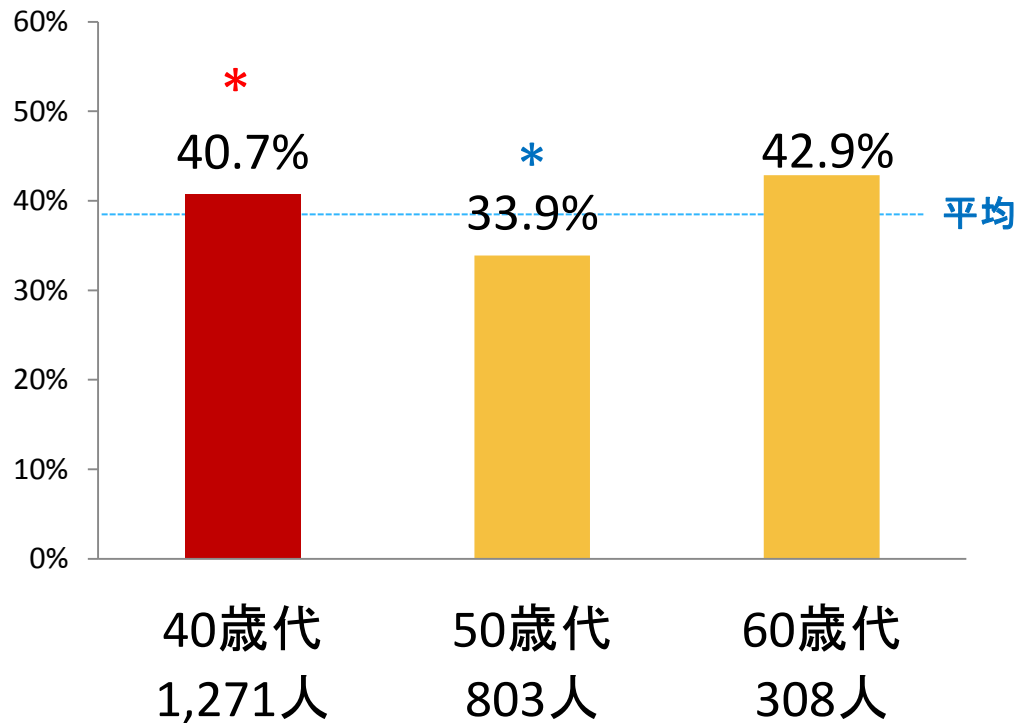
X二乗検定結果: 有意の場合pの数値で表示
 残差分析結果 *:**有意に高い** *:有意に低い

男女別中断率 (全年代) p=0.010



女性は中断率が高い

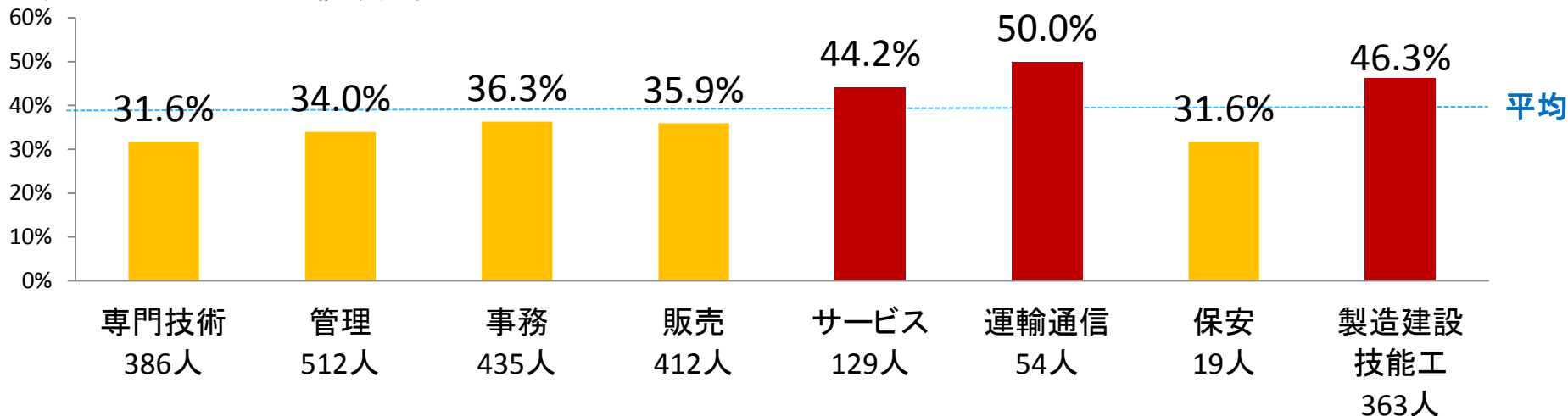
年代別中断率 (男女込) p=0.002



40歳代で中断率が高く、
50歳代で低い

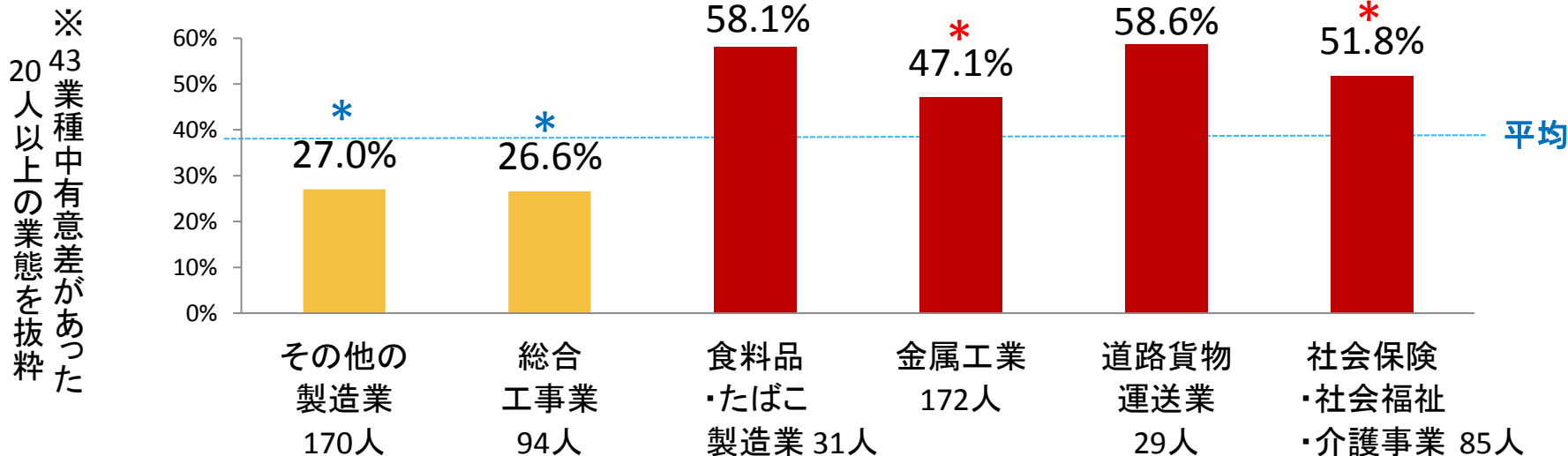
■積極的支援、男女・年代区別無
 ■本人アンケートより※複数回答可

本人の仕事内容別中断率



■所属事業所情報より

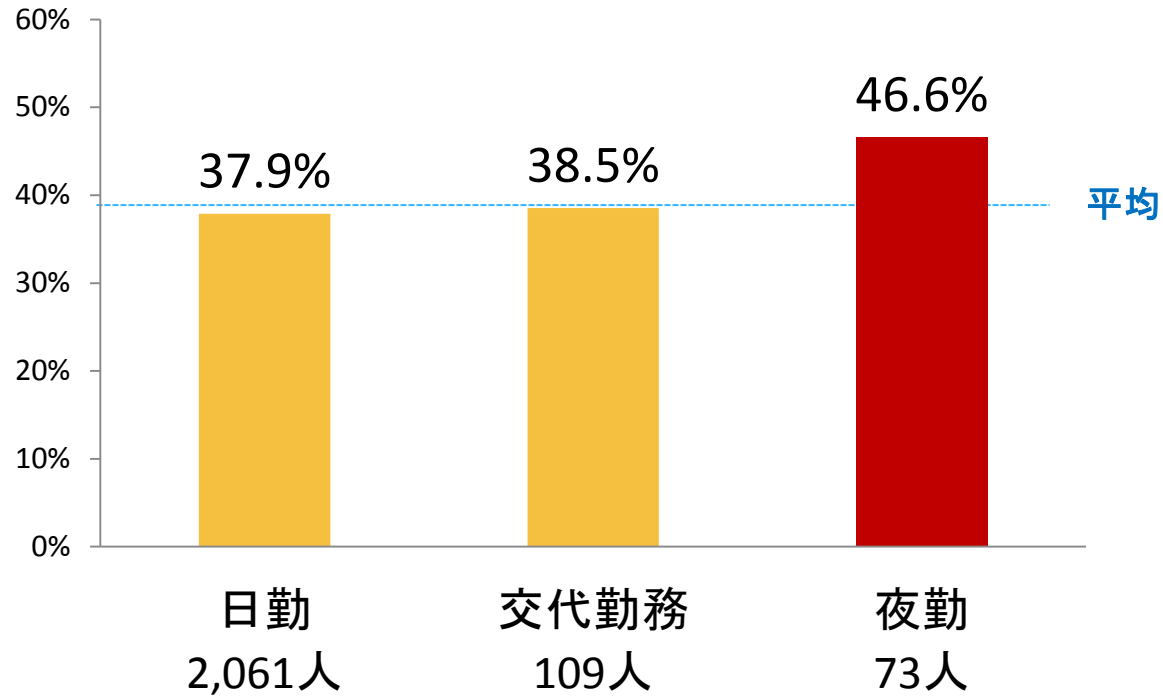
事業所の業態別中断率



運輸通信・一部の製造・介護福祉関連の
 職種・業態では、中断しやすい

■ 本人アンケートより※複数回答可

勤務形態別中断率

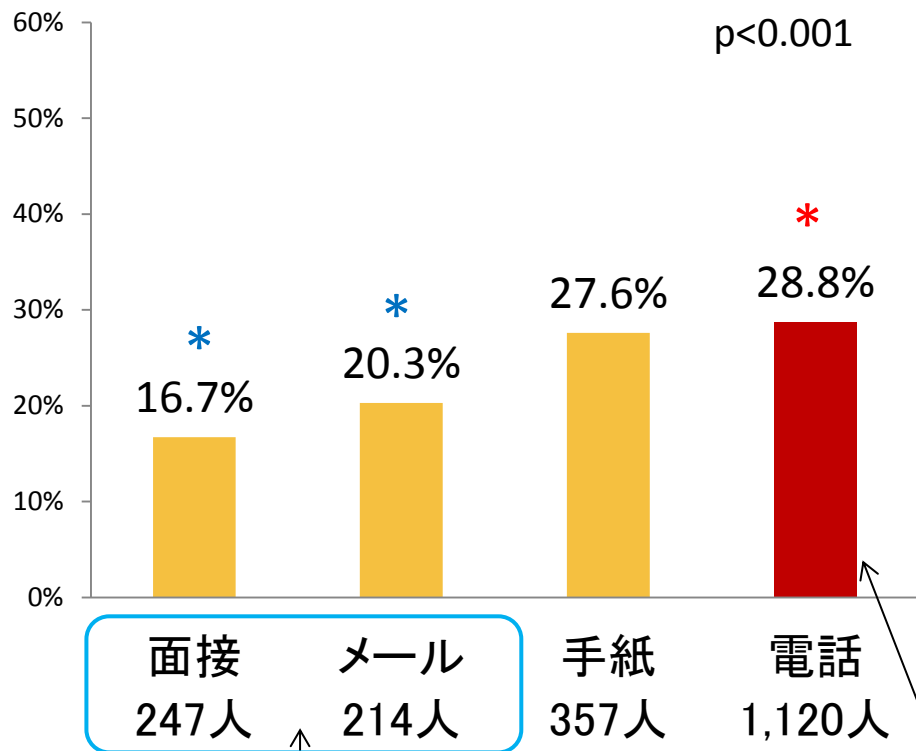


夜勤勤務者は約半数が中断している

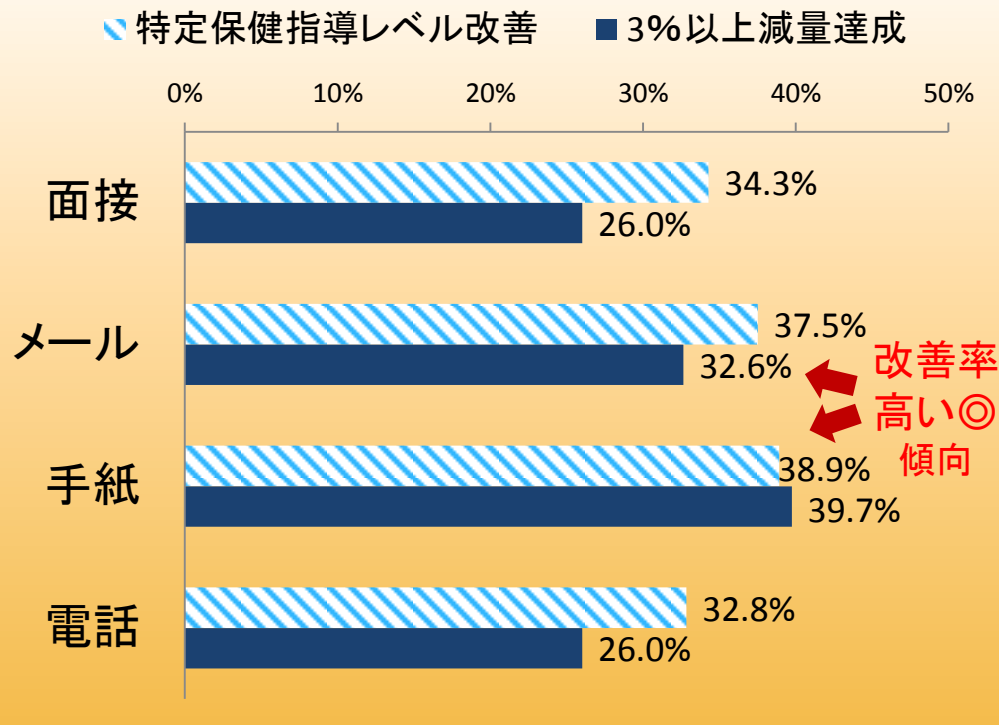
■保健指導データより
 ■積極的支援、男女・年代区別無

主な支援方法：支援終了までに最もポイントを占めていた支援方法

支援方法別中断率



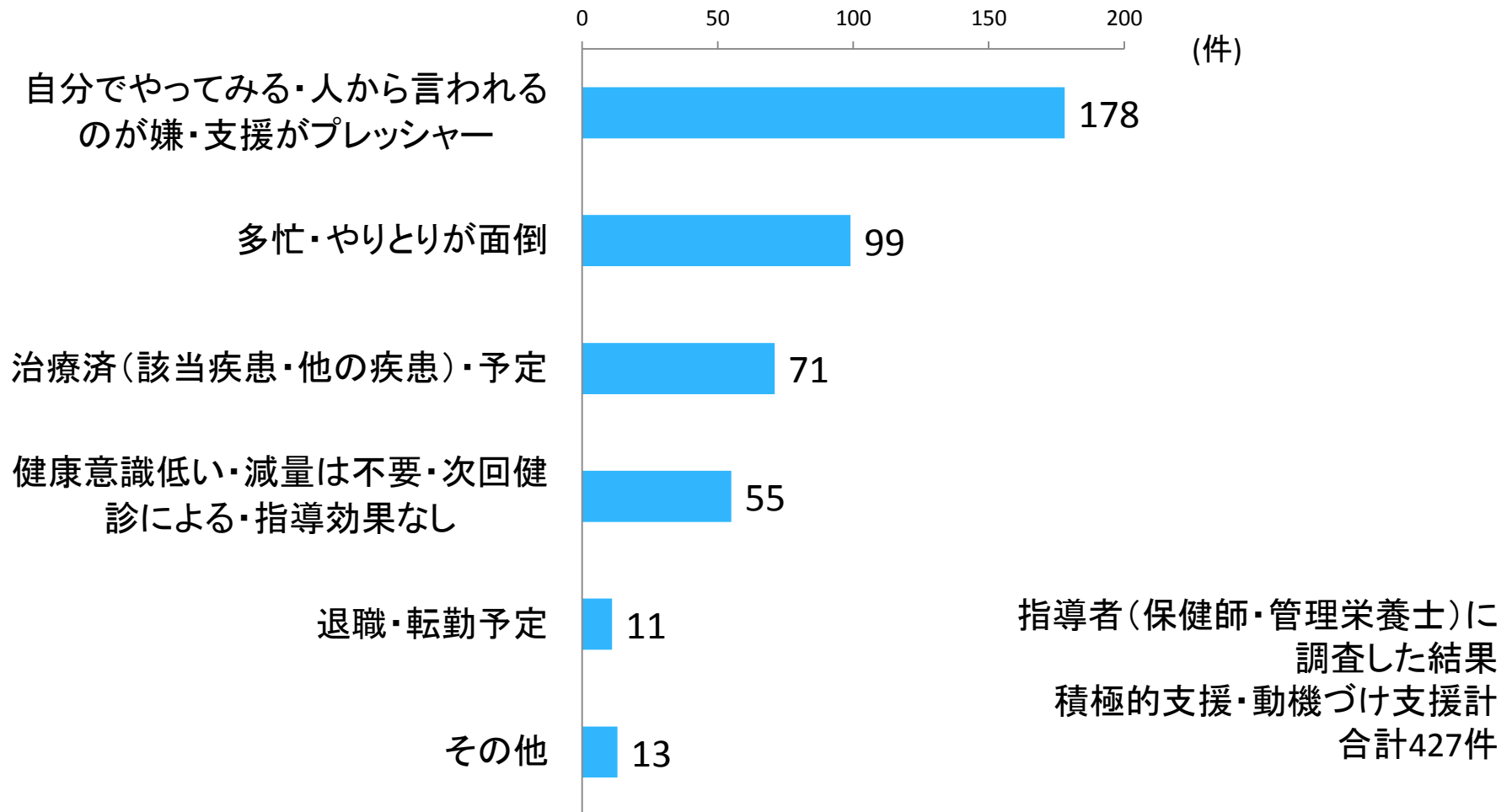
参考)翌年度健診結果 改善率



電話は中断率が高い
 面接やメールでは中断率が低い=完了率が高い

(2) 初回中断理由 結果

特定保健指導対象者が初回中断に至った理由



中断要因

1. 女性
2. 40歳代
3. 夜勤勤務者
4. 運輸通信・製造・介護福祉
関連の職種・業態

完了要因

1. 男性
2. 50歳代
3. 日勤・交代勤務者
4. 専門技術・管理・事務
・販売の職種、総合工事業
・その他製造業

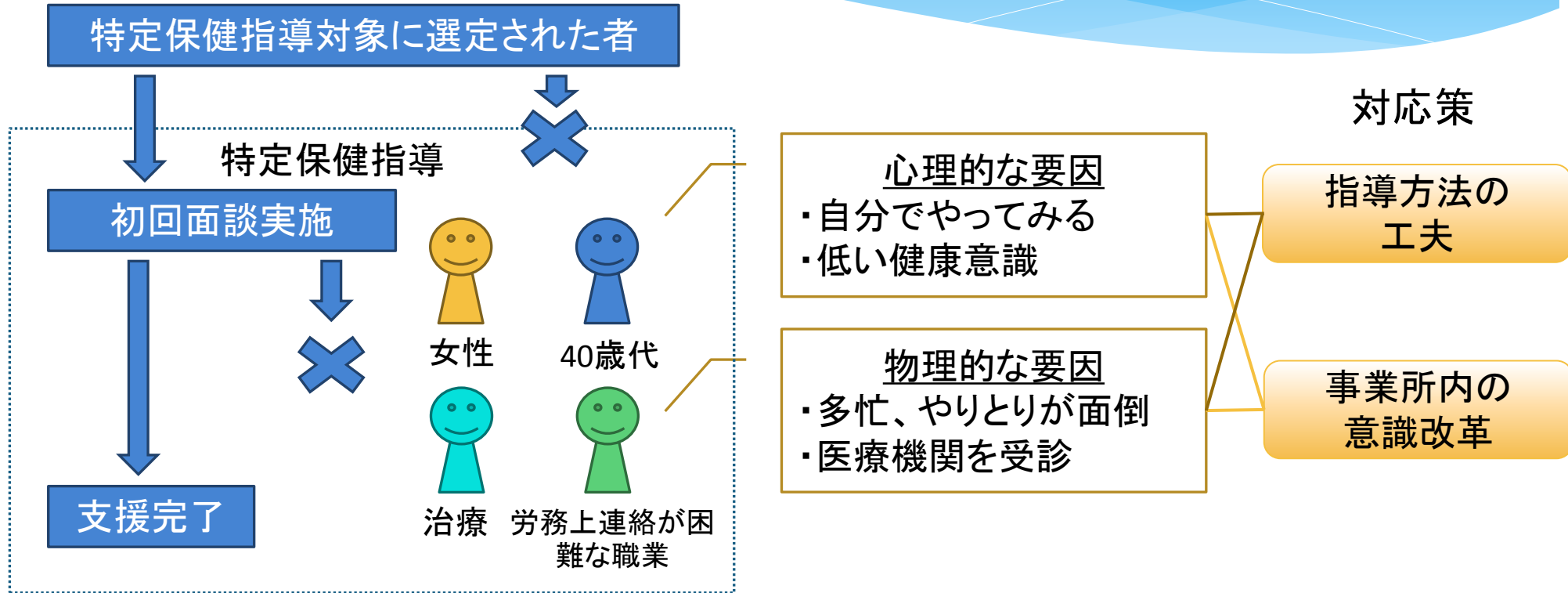
初回中断の理由(積極的支援・動機づけ支援)

- ・自分でやってみる
- ・治療中・治療予定
- ・多忙・面倒
- ・健康意識(改善意識)が低い

継続支援方法: 電話・手紙・面接・メール 完了しやすい

効果も高い傾向

考察

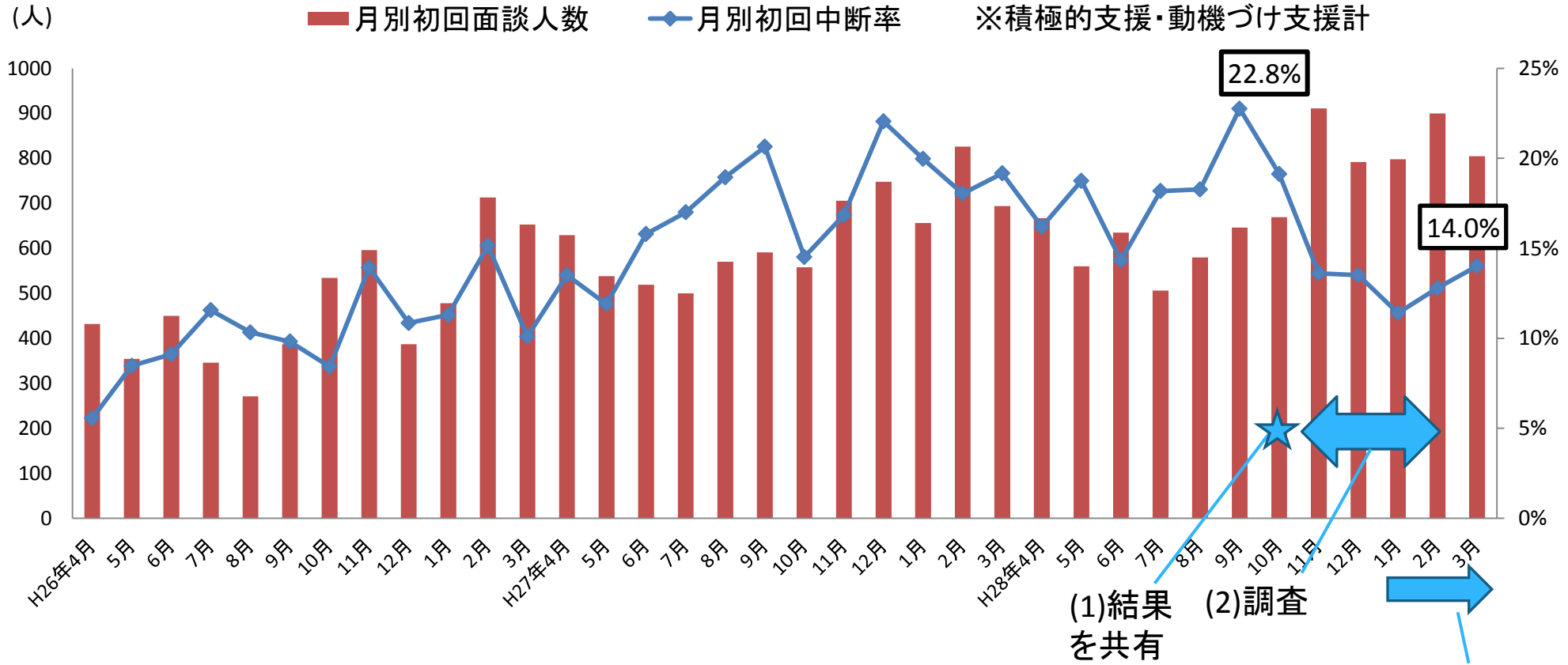


- * 特定保健指導を中断する理由は様々であり断定できないが、本検討により対応のための糸口を見つけることはできたと考えられる。
- * この糸口は、特定保健指導勧奨の受入向上、全体の特定保健指導実施率向上にも関連しうると考えられる。

対応策

<p>指導方法の工夫 → <u>実施</u></p>	<ol style="list-style-type: none">1. 多忙な対象者が継続できるように支援方法を充実 =メールやITを用いた支援を充実2. 指導者が対象者に支援継続を促す効果的な台詞等を取りまとめ実践3. 評価として指導者自身が中断状況を数値で確認
<p>事業所内の意識改革</p>	<p>事業所担当者や幹部職員に健康管理と特定保健指導の必要性への理解を促す 等 → <u>今後の課題</u></p>

初回面談における経年変化



* 初回中断率は調査以降に低下傾向を認めており
引き続き完了率向上に向けて効果を検討する。